※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「何ができるようになったか」を大切にしたいと思います。１時間の中での進歩，単元をとおしての進歩，学期をとおしての進歩，そして，１年間の学習をとおしての進歩が感じられるような学習への取り組みをして下さい。
・一人一人の個性を生かし，これを伸ばしていくことを学習の第一目標としています。練習する古典や題材とする語句などについて，自分を最高に生かせる選択をしていきたいものです。
・「書道Ⅰ」の学習をとおして，生涯にわたり書を身近な存在として感じられるようになって欲しいと思います。

２　学習の到達目標

・書写能力の向上を図り、基礎的な書道の知識や技能を身につける。
・書道の幅広い活動を通して感性を高め、表現と鑑賞の能力を高める。
・生涯にわたり書を愛好する心情を育て、書の伝統と文化についての理解を深めようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 書の表現の方法や形式，書表現の多様性について幅広く理解している。 【技能】 書写能力を向上させるとともに，書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ，表している。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月(10月)	書の世界へようこそ	■用具・用材―文房四宝― ■姿勢・執筆 ■古典の学び方 ■書を生活の中に生かしてみよう	a: 用具・用材について理解し，姿勢や執筆法・用筆法について知り，書道の学習における基本的な事項を理解している。 b: 臨書の種類を知り、倣書の方法を習得し，作品制作への展開の可能性について考えている。 c: 生活の中の書を再認識し，その意義や効果を考えている。			
	漢字の書の学習	■書体の変遷 ■拓本と碑について ■拓本を採ってみよう	a: 漢字の五書体の歴史的な変遷について理解している。 a:拓本の採り方やその様式について技術を習得している。 b: 両古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し，その表現方法について考えている。 c:五書体の変遷や拓本の採り方に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。			
5月(11月)	楷書の学習	１．さまざまな楷書 ２．唐の四大家 ■九成宮醴泉銘／孔子廟堂碑 ■雁塔聖教序／顔氏家廟碑 ３．北魏の書 ■牛橛造像記／鄭羲下碑	a: 唐の四大家の概要を知り，作品の比較をとおしてそれぞれの美を感得している。 b: 両古典の比較をとおしてそれぞれの特徴と書法を理解し，その表現方法や可能性について考えている。 c: 毛筆による書表現の多様性を理解し，これを積極的に鑑賞する態度を身につけている。			

※令和４年度以降入学生用

	行書の学習	１．さまざまな行書 ■行書の特徴 ２．王羲之と顔真卿の行書 ■蘭亭序 唐の太宗と蘭亭序 ■祭姪稿 鑑賞ガイド　蘭亭序 鑑賞ガイド　祭姪稿 顔真卿の人と書 ３．日本の行書 ■風信帖 ■三筆，三跡の書 身のまわりに見られるさまざまな書	a：行書の表現の多様性にふれ，行書の成立について，正しく理解している。 b：行書の特徴をふまえ，行書が芸術の書，実用の書の両方で広く用いられている理由について考えるとともに、生活の中での書を再認識し，その意義や効果について考えている。 c：身のまわりの書について関心を持ち、主体的に行書について学ぼうとしている。			
6月（12月）	篆書の学習	■篆書（小篆）の特徴 ■泰山刻石	a：基礎的な篆書の学習や泰山刻石を臨書することにより，篆書の特徴や小篆の筆使いの特徴を理解している。 b：基礎的な篆書の学習により，篆書の特徴を理解し，用筆・運筆，結構法を習得して表現力を高めている。 c：基礎的な篆書の学習や泰山刻石に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。			
	篆刻・刻字の学習	１．篆刻の学習 ２．刻字の学習	a：篆刻の歴史を知り鑑賞することにより、完成までの手順と技法を習得する。 b：篆刻のよさや美しさを感じ，自分の制作する印に工夫を加えようとしている。 c：篆刻や刻字の学習に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

6月(12月)	隷書の学習	■隷書の特徴 ■曹全碑 ■居延漢簡	a: 基礎的な隷書の学習により，隷書の特徴を理解している。 b:，隷書の用筆・運筆，結構法を習得して表現力を高めている。 c: 隷書に関心を持ち，今後の生活に生かす能力を身につけようとしている。			
7月前半(1月前半)	草書の学習	■草書の特徴 ■書譜	a: 基本的な草書を学習することにより，草書の特徴を理解している。 b: 書譜を臨書することにより，草書の筆使いの特徴を表現しようとしている。 c:草書の学習や書譜の臨書に主体的に取り組もうとしている。			
7月後半(1月後半)・8月(2月)	**仮名の書の学習**	1．仮名の世界へようこそ ■仮名の成立と発達 ■仮名の種類　■姿勢・執筆 ■用具・用材　■基本的な筆使い ■平仮名　■変体仮名 ■連綿 2．蓬莱切の鑑賞と臨書 3．高野切第三種の鑑賞と臨書 4．三色紙の鑑賞と散らし書き 5．仮名の書の制作 6．全体構成の工夫 7．大字による表現と鑑賞	a: 仮名の成立過程や仮名の種類，および基本的な線質と，用筆・運筆との関係について理解している。 b: 基本的な造形原理を身につけ，創造的な表現につなげようとしている。 c: 仮名の書の技法を生かし，自己を表現する喜びを味わうことに主体的に取り組もうとしている。			
8月(2月)	**漢字仮名交じりの書の学習**	1．言葉を表現する 2．感動や思いを表現しよう ■作品の表現意図を考える ■名筆に学ぶ表現の工夫 ■用具・用材の工夫 ■全体構成の工夫 ■作品の完成（鑑賞会を行う） 3．漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞	a: 漢字仮名交じり文の成立と歴史的変遷について理解している。 b: 漢字と仮名の調和の重要性を確認し，そのための工夫について考えている。 b:用具・運筆の違いによる多様な線質を理解し，表現を工夫しようとしている。 c: 明確な制作意図をもち，主体的・意欲的に表現を行おうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度